

## 令和 6 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立梅香小学校 学校協議会

### 1 総括についての評価

#### 【安全・安心な教育の推進】

日々の取り組みの結果、児童のいじめに対する意識は向上してきている。不登校については、学校に登校する日が増えた児童が見られたので、継続して指導を進めしていく。地域の人材や施設を利用した学習は、全学年で計画的に実施することができた。

- 学校アンケート等でのいじめに対する意識の調査項目が、低学年の児童にとってはわかりにくい表現であるため、改善が必要である。いじめアンケートは、アンケートを実施するだけでなく、担任がアンケートの内容について児童に聞き取っていることがわかった。今後もいじめを防止するとともに、児童のいじめに対する意識を高めていく指導を続けてほしい。
- 学校アンケートの結果から、子どもたちが将来に夢や希望をもつことができていることがわかり、うれしく思う。アンケートなどで児童の思いを聞くことは大切である。

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

話し合い活動については、国語科の学習を中心に、計画的に授業に取り入れてきた。研究授業を公開し、教員の授業力の向上に取り組んできた。児童が運動に取り組むことができるよう、体育行事を工夫した。

- 研究教科として国語科を選び、取り組んできたことで、書く力が向上することを期待する。有名な作品の文章を覚えるなどの取り組みもしてはどうか。家庭でも読書をする機会をもつことができる工夫が必要である。
- 体力・運動能力、運動習慣調査の結果が全国平均よりも上回っているため、継続した取り組みを行ってほしい。

#### 【学びを支える教育環境の充実】

今後も、ＩＣＴ機器の効果的な活用を進めていく。教職員の働き方改革については、継続して業務の見直しを図っていく必要がある。

- 家庭学習でも端末を活用する機会があればよいのではないか。デジタルドリルを家庭でも取り組ませたい。

## 2 年度目標ごとの評価

### 【安心・安全な教育の推進】

#### 年度目標

- ① 今年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- ② 小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があっても許されないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- ③ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ④ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

- ①②については日々の継続した取り組みが必要である。アンケートの工夫を含め、低学年の児童にも分かりやすく伝えていく必要がある。
- ③④については、今後も細かな対応を続けてほしい。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 年度目標

- ① 小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当たる」と回答する児童の割合を40%以上にする。
- ② 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント以上向上させる。
- ③ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を74%以上にする。
- ④ 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- ⑤ 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を75%以上にする。

- ①②について、国語の学習と関連して読書の取り組みも進めていることは、継続してほしい。家庭でも読書をする習慣をつける工夫が必要である。
- ⑤については、運動習慣と運動能力は関係があると考えられるため、あまり運動をしない児童が運動場で遊ぶ工夫が必要である。熱中症などのリスクがある中で、継続して外で遊ぶことは難しいが、気候のよい時期にはできるだけ体を動かすようにしてほしい。

## 【学びを支える教育環境の充実】

### 年度目標

- ① 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の78%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く)
  - ② 学習者用端末を活用した家庭学習が高学年で週1回以上実施する。
  - ③ 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教員の割合を59%以上にする。
- ①②について、学習者用端末を家庭でも活用できるよう、デジタルドリルなどの課題を出してほしい。

### 3 今後の学校運営についての意見

- どの目標についても、今後も継続した取り組みが必要である。引き続き児童が安心・安全な環境で学習活動ができるよう地域も一体となって協力したい。
- 取組の進捗状況を測る指標として、学校アンケート等の結果を利用していることが多いが、児童のアンケートの回答と、実際の子どもの行動に違いがあるケースも見られるため、アンケート結果のみにとらわれないようにしてほしい。